

式 辞

本日ここに、戦没者ご遺族をはじめご来賓各位のご参列のもと、安芸太田町戦没者追悼・平和祈念式典を執り行うにあたり、戦争により犠牲になられたすべての御霊に対し、安芸太田町を代表して、謹んで哀悼の誠を捧げます。

戦後七十五年の歳月が流れた今日、戦争を知らない世代の増加とともに戦争の風化が危惧されています。私自身もまた、戦争を知らない世代の一人ではありますが、時代がどのように経過し、変化しようとも、再び過ちを繰り返さないために戦争がもたらすあらゆる苦しみ、悲惨さ、恐ろしさ、そして、平和の尊さを次の世代に語り継いでいくことは、それぞれの時代を担う世代に課せられた大切な使命であります。

先の大戦で、国内をはじめ遠い異国の地で祖国の平和と発展を願い、愛する家族の安泰を念じつつ、戦闘の中で傷つき、戦禍に倒れ、数多くの同胞の尊い命が無残にも失われていきました。

戦争を知らない世代である私のような者であっても、大事な家族を持つ一人の人間として、同じ立場に置かれることを想像するとき、ご遺族の皆様方のご心情はいかばかりかと、七十五年を経た今日においても、その痛みは胸に迫ってまいります。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦争によって心ならずも命を捧げられた方々の尊い犠牲と、戦後の国民のたゆまぬ努力の上に築かれたものです。

かけがえのない肉親を亡くされ、戦後の混沌とした世相の中で深い

悲しみを抱えながら苦難に耐え、家族を支えてこられたご遺族の皆様方の努力に対し、改めて心から敬意を表しますとともに、この戦争の惨禍を教訓として深く心に刻み、風化させることなく後世に語り継ぎ、恒久平和を訴えていく決意を新たにいたします。

また、私たちは、唯一の戦争被爆国の国民として、政府による積極的な核兵器廃絶の取組みを求めているかなければなりません。

本町といたしましても、持続可能な平和な社会を構築すべく、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に力を尽くし、すべての町民が安心し、心豊かな生活を送ることのできる住みよい町を目指し、真の平和の実現に向けて、皆様とともにより一層の努力をしてまいります。

結びに、戦没者すべての御霊の安らかなご冥福と、世界の平和と繁栄を願い、併せて本日ここにご参列いただきました皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、式辞といたします。

令和2年8月15日

安芸太田町長 橋本 博明